

海技免許講習

海技士国家試験に合格し、免許申請を行うには海技免許講習を受講しなければなりません。講習は、受験前でも受講可能です。

講習の種類と料金

種 類		本 代	受 講 料
救	救 命	970 円	29,000 円
消	消 火	500 円	10,000 円
航 英	航 海 英 語	1,670 円	9,000 円
機 英	機 関 英 語	1,080 円	9,000 円
レ	レーダー観測者	520 円	13,000 円
シ	レーダー・ARPA シミュレータ		35,000 円
上航英	上級航海英語	免無・六級	1,670 円 40,000 円
		四・五級有	1,670 円 31,000 円
上機英	上級機関英語	免無・六級	1,080 円 35,000 円
		四・五級有	1,080 円 26,000 円

料金には、消費税を含んでいます。

免許講習は1回受講すればよく、下級等免状を受有していましたが、免除される科目もあります。

上級英語は同科の四・五級を受有していれば、日数が短縮され、料金が減額されます。

シミュレータは6人の定員がありますので、7名以上の場合は日程が繰り下がります。

- (例) ① 六級航海を持って四級航海を受けたら、免許講習は「英語」と「シミュレータ」だけです。
 ② 六級機関を持って五級航海を受けたら、免許講習は「航海英語」と「レーダー観測者」と「シミュレータ」だけです。
 ③ シミュレータで受講番号7番～12番の方は、3日目と4日目の講習です。

日程

	英語	消火	救命	レ観	シミュレータ
1回		7/2	7/3	7/5	
2回	7/13	7/10	7/11	7/15	7/18
3回		10/10	10/11	10/13	
4回	10/19	10/21	10/22	10/24	10/27
5回	12/3	11/27	11/28	11/30	12/5
6回	²⁰²¹ 3/15	3/17	3/18	3/20	3/23
日数	2日	1日	2日	3日	2日

※救命講習の2日目は、実技会場に移動して実施します。

	上級航海英語	上級機関英語
1回	9/29～10/10	9/29～10/8
日数	11日	9日

四・五級免状受有者及び航海・機関英語修了の方は、3日目からの受講となります。

※海技試験の日程により、変更することがあります。

海技免状別受講科目

初めて国家試験に合格した時に受講しなければならない免許講習の科目です。

下級等海技免状を受有している場合は免除される科目もあります。

免状種別	受 講 科 目	合 計 金 額	
航 海	三級	救・消・レ・シ・上航英	130,660 円
	四・五級	救・消・航英・レ・シ	99,660 円
	六級	救・消・レ	53,990 円
機 関	三級	救・消・上機英	76,550 円
	四・五級	救・消・機英	50,550 円
	六級	救・消	40,470 円

広島海技学院



2020年度 海技士試験・養成講習 海技免許講習

当学院では、三～六級海技士試験講習、六級航海養成講習及び免許講習を実施しております。

申込先

広島海技学院 海技チーム
 TEL(082)254-8077(直通) Fax(082)255-8702
kaigi@hkg.or.jp

宿泊 近くの宿舎施設を紹介します。

教育訓練給付金制度適用

雇用保険に3年以上加入されている方は、2割がハローワークより支給されます(6級航海養成のみ)

国土交通省登録養成機関
 一般社団法人 広島海技学院

広島本部 〒734-0012 広島市南区元宇品町 41-18 TEL(082)255-8700
 岡山事務所 〒712-8043 倉敷市広江 2-15-31 TEL(086)455-4988
 山陰事務所 TEL(0859)45-7185

ホームページは [広島海技学院](#) [検索](#)



三～六級（航海・機関）受験講習 六級航海養成講習（国家試験免除）

必要な乗船履歴

各科目によって規定の乗船履歴が必要です。
履歴は15年以内のものであって、かつ、5年以内に1日以上の履歴が必要です。

<p align="center">三級海技士(航海)</p> <p>甲板部員として3年以上 四級航海を受有して、航海士(一航士を除く)として2年以上 四級航海を受有して、船長又は一航士として1年以上</p>
<p align="center">四級海技士(航海)</p> <p>甲板部員として3年以上 五級航海を受有して、職員として1年以上</p>
<p align="center">五級海技士(航海)</p> <p>甲板部員として3年以上 六級航海を受有して、職員として1年以上</p>
<p align="center">六級海技士(航海)</p> <p>5トンの船舶に運航業務(甲板)で ① 受験コース—2年以上従事 ② 6日間養成コース—5年以上従事(3年分は15年より以前でも可、又航海当直部員としての履歴が2年必要) ③ 3日間養成コース—10年以上従事(8年分は15年より以前でも可、又航海当直部員としての履歴が3年必要)</p>
<p align="center">三級海技士(機関)</p> <p>機関部員として3年以上 四級機関を受有して、機関士(一機士を除く)として2年以上 四級機関を受有して、機関長又は一機士として1年以上</p>
<p align="center">四級海技士(機関)</p> <p>機関部員として3年以上 五級機関を受有して、職員として1年以上</p>
<p align="center">五級海技士(機関)</p> <p>機関部員として3年以上 六級機関を受有して、職員として1年以上</p>
<p align="center">六級海技士(機関)</p> <p>5トンの船舶に機関員又は小型船舶の船長として2年従事</p>

※船舶の種類・総トン数・機関の出力・航行区域によっても異なりますので、電話にてお問い合わせ下さい。

※証明履歴の方は、FAX等でお早めに送り、ご確認下さい。

講習日程 三～五級(試験日程により変更もあります)

(青色はSECOJ扱い、受講料無料・テキスト代申請料のみ必要)

回数	試験種類	講習期間
1	三級向 10月定期	8/14(金)～10/17(土)
1	四・五級向 3月臨時	2021.1/13(水)～3/5(金)

講習日程 六級(試験日程により変更もあります)

(青色はSECOJ扱い、受講料無料・テキスト代申請料のみ必要)

回数	講習期間	申込締切日	身体検査日	筆記試験日
上段は受験コース、中段は6日養成コース、下段は3日養成コース				
1	6/20(土)～6/30(火)	5/29(金)	7/1(水)	免除
	6/25(木)～6/30(火)			
	6/28(日)～6/30(火)			
2	9/28(月)～10/8(木)	8/28(金)	10/9(金)	免除
3	11/14(土)～11/24(火)	10/19(月)	11/25(水)	免除
	11/19(木)～11/24(火)			
	11/22(日)～11/24(火)			

上記の日程の後に、免許講習(航海科6日・機関科3日)が必要

※SECOJ扱いは航海・機関とも11/14～24

※六級養成コースでは、開講日の8:30から入学試験、講習終了時に修了試験を実施します。(国家試験免除)

※六級受験コースの筆記試験は身体検査の後に実施します。

※宿泊斡旋希望の場合は、1ヶ月前までに連絡して下さい。

※六級の養成コースは、航海科のみです。

受講料等(テキスト代込)

科目	受講料	受験申請料	免許申請料
三級	330,000円	19,000円	13,500円
四級	264,200円	15,300円	9,000円
五級			7,500円
六級機関		165,000円	13,800円
六級航海	受験	71,500円	11,400円
	6日養成		
	3日養成	36,300円	

必要書類等 三～五級(開講時に説明します)

1. 申込書(SECOJ指定用紙)、前もってSECOJに申込
2. 船員手帳、又は乗船履歴を証明する書類
3. 住民票(本籍記載のもの)1通又は海技免状等(航海・機関・小型)の写し
4. 写真(3cm×3cm) 6枚 受験申請用2枚+身体検査用+免状用+免許講習用(2枚)
5. 認印
6. 身体検査証明書(受講中に身体検査に行ってもらいます)

必要書類等 六級(前もって郵送か窓口を持参)

1. 申込書(当学院指定用紙)
2. 乗船履歴(当学院指定用紙) 6N養成のみ必要
3. 船員手帳又はその写し、又は乗船履歴を証明する書類
4. 住民票(本籍記載のもの)1通又は海技免状等(航海、機関、小型)の写し
5. 写真(3cm×3cm) 航海科養成は8枚、航海科・機関科受験は6枚 内訳 受験申請用2枚+身体検査用+免状用+免許講習用(2枚)+養成講習のみ受講用2枚
6. 認印
7. 身体検査証明書(当学院指定用紙) 運輸局指定医で受診

講習の流れ

講習の申込	電話又はメール
↓	
受講	三級は55日程度、四・五級は45日程度 六級受験は10日、六級養成は3日又は6日
↓	
国家試験	筆記試験(国の定める日程どおり) 口述試験(定期試験では筆記の2～3週間後位、 臨時試験では筆記試験の翌日から)
↓	
免許講習	筆記試験と口述試験の間、若しくは口述試験後に実施(日程は表側参照)
↓	
国家試験合格後1年以内に申請(要免許講習修了)	
↓	
海技免状交付	